

チャリトロ杯 FII



1/26(金) 27(土) 28(日) GIRL'S KEIRIN ナイター開催 川崎スポーツ

レース展望

1月26日から開催される川崎競輪はチャリトロ杯として行われるF2ナイター。ガールズケイリンも含めた12レース制。

A級1、2班戦の注目は久しぶりのA級戦となる地元ホームの五十嵐力(神奈川87期)。自在な能代谷元(神奈川111期)や、予選から栗本武典(千葉119期)が勝ち上がればVチャンスは広がりそう。第二勢力は関東。S下がりの片折亮太(埼玉92期)を中心に、地脚強力な片桐善也(新潟117期)や、キメ脚鋭い山田田学(埼玉83期)、吉田裕全(埼玉90期)と揃い戦力に厚みがある。北日本は突出した存在が無く、戦力的にも劣勢なのは否めない。

遠征勢は中部、近畿地区からの参加。前S級の三浦貴大(岐阜115期)や大谷靖茂(愛知93期)、中井勇介(大阪100期)らが機動型の中心。ベテラン坂上忠克(石川71期)は当地好走の印象があり、目標次第ではV圏内。

チャレンジ戦はルーキー立花昌也(青森123期)を中心とする北日本ラインが優勢。地元南関東地区は前期2班の桜井大地(静岡111期)が持ち味の積極策で展開を切り拓いてくれれば、ホーム対馬太陽(神奈川85期)らにもチャンスは出てくる。関東勢は今期降班の等々力久就(長野98期)が中心。ルーキー助

川翔太郎(埼玉123期)も徐々にレースに慣れてきた印象。遠征勢は1、2班と同様に中部、近畿地区から。山元大夢(石川123期)あたりの頑張り次第となりそうで、東日本勢に比べるとやや劣勢か。

ガールズケイリンはGPLレーサー久米詩(静岡116期)が一歩リードしているか。優勝候補と見ていいだろう。それを追って、鈴木奈央(静岡110期)、飯田風音(埼玉120期)、小泉夢菜(埼玉122期)、板根茜弥(東京110期)らが応戦。

必勝期すホーム五十嵐力が主役

A級 主力選手



五十嵐力 神奈川 87期

3度のG3制覇など、グレードレースでも長らく活躍してきた五十嵐力が今期はA降級。自力の印象が強い五十嵐だが、現在は追い込み型。慣れないA級戦をどう戦い抜くかに注目だ。走り慣れた地元ホーム戦でしっかり結果を出して、今期の弾みにしたいところ。

A級 主力選手



片折亮太 埼玉 92期

半年ぶりのA級戦となる片折亮太。長い距離も苦にしないタフな先行力が売りの片折だが、現在はだいぶバック本数も減っておりコメントも「自力自在」が増えた。戦法の転換期に入っているようだが、A級戦ならまだまだ力勝負で乗り切れそうな印象は十分にある。

A級 主力選手



三浦貴大 岐阜 115期

父は長らくS級で活躍していた靖(53期)。昨年はS級で揉まれて苦戦していたが、その経験を糧に今期はA級で再スタート。勝ちパターンは捲りやカマシだが、まだまだ伸びしろは十分にある24歳。遠征ラインの中心として、優勝争いに加わってきそうだ。



A級 注目選手 **立花昌也** 青森 123期

昨年7月にデビューした新人選手。前期は2Vを挙げているが、高い機動力を考えれば物足りないレベル。力を出し切り強力な地脚を発揮できれば、いつ特昇班を達成してもおかしくないだろう。前期2班の強敵は揃うが、それに打ち勝つだけの実力は十分にある。

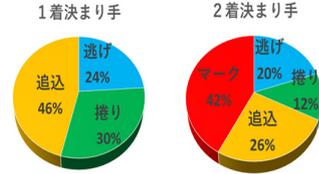


ガールズ 注目選手 **久米 詩** 静岡 116期

昨年はガールズケイリンフェスティバル、コレクションとビッグレースで2勝した久米詩。まさに飛躍の年となり、自在型としての戦い方の精度が上がった印象。終盤はナショナルチーム勢に圧倒される場面が増えたが、いまやトップクラスの選手として成長した。

川崎競輪場バンクガイド (2023年10～12月データ)

1年の改修工事を経て、昨年10月からリニューアルした川崎バンク。12月まで363レース(ガールズを含む)を終えた段階の1・2着の決まり手データは表の通り。基本的に構造は旧バンクを踏襲したもので、逃げ・捲り・差し・マークについて、それぞれのパーセンテージは以前と変わりはない。ただし1着に限って言えば、逃げ・捲りの決まり手が54%と過半数越えて、自力型のアタマから組み立てていく車券戦術が可能だろう。川崎名物イエローライン付近の強襲コースは、バンク改修により最終4コーナー走路をスムーズに回ってくるようになり、前団選手の失速が少なくなったため、今のところは出現率がそれほど高くない印象だ。



競輪は適度に楽しみましょう。車券の購入は20歳になってから。

【発行】川崎競輪 【監修】川崎サイクル